

# 回 答 書

- 1 町名変更で増えるとするふるさと納税額 2 億円及び観光客効果額 1 億 8 千万円の具体的な算出根拠をお知らせください。

(回答)

ふるさと納税については、寄付という性格上、確定した根拠に基づき推計することが難しいと考えております。今回の 2 億円の根拠は、今後のふるさと納税に係る制度改正の内容や全国の寄付金の情勢、また、本町の寄付金の推移から判断し 1 年につき 4 千万円の増と想定しました。

観光客効果額については、総合計画の目標値である 201, 102 人の観光入込客数の確実な達成に寄与すると想定し、増加人数 43, 500 人に北海道観光機構が公表している道内の日帰り観光客の消費単価 4, 159 円（飲食費、買物代、娯楽サービス代合計）を乗じて算出したものがあります。

- 2 町名変更をしなかった場合、上記の額はそれぞれどのようになりますか？その根拠もお示しください。

(回答)

町名変更をしない場合でも、ふるさと納税の寄付額向上や観光施策の推進は変わりなく取り組むべき施策であると考えておりますので、ふるさと納税額や観光客効果額は、同程度になるかもしれませんが、下回るかもしれません。現時点では、想像の域を出ることができないと考えます。

提案している町名変更は、目的達成に向けた一つの糸口であると考えています。

- 3 過去 3 年間(2022 年度～2024 年度)のふるさと納税額をお知らせください。町長によるトップセールスなどにより 2025 年度は前年度より増額されていると思いますが、12 月末現在の確定額をお知らせください。

(回答)

寄付の実績は次のとおりであります。

2022 年度 198, 732, 000 円

2023 年度 271, 782, 500 円

2024 年度 456, 942, 000 円

2025 年度 372, 720, 300 円（12 月末現在）

- 4 清水町より人口の少ない上士幌町(人口 5000 人以下)の近年のふるさと納税額は 11 億円程度と聞いております。清水町より全国的に覚えにくい町名と思われる上士幌町では十勝上士幌町と町名変更もしないで大きな成果をあげています。清水町も町名変更しないで増額することはできないのですか？

(回答)

ふるさと納税については、各自治体においてその特徴をPRしながら寄付を募っていると認識しています。

本町も特徴ある返礼品や体験型返礼品の提供などあらゆる手法を用いてPRをし、増額を目指しております。

このことについては、町名変更にかかわらず継続していきます。

**5 公約よりも優先する公共施設の改修・改築について、施設名・事業年度・事業費について具体的にお知らせください。**

(回答)

御影公民館・御影分遣所の施設更新を進めてまいります。

事業年度は、令和8年度に基本構想策定、令和9年度に基本設計、令和10年度に実施設計、令和11年度に建築工事を予定しています。

なお、事業費については、設計内容や物価情勢により変動するため、現時点では明確にお答えすることはできませんが、10億円から15億円程度を要するものと考えています。

**6 上記の施設に係る財源内訳概算(国道補助金・起債・一般財源)についてお知らせください。**

(回答)

御影公民館・御影分遣署の施設更新費用の財源内訳も、現時点では明確にお答えすることはできませんが、地方交付税による財源措置を受けることができる起債が主な財源と考えています。

**7 現在町名変更にかかるとされている経費は補助金も起債も受けられない町単費になると思います。緊急性のない町名変更に向けようとしている1億1000万を使って補助金や起債が受けられる緊急性ある事業に回すとすれば5~10億円程度の事業が可能となりませんか？お答えください。**

(回答)

補助金や起債を受けられる事業において、町単費が1億1千万円となるケースは、補助率や起債の地方交付税措置率などにより大きな差異が生じますが、事業費は2億2000万円から7億3000万円程度となります。